

# COVID-19 第1回アンケート (令和2年5月1日~5月10日実施)

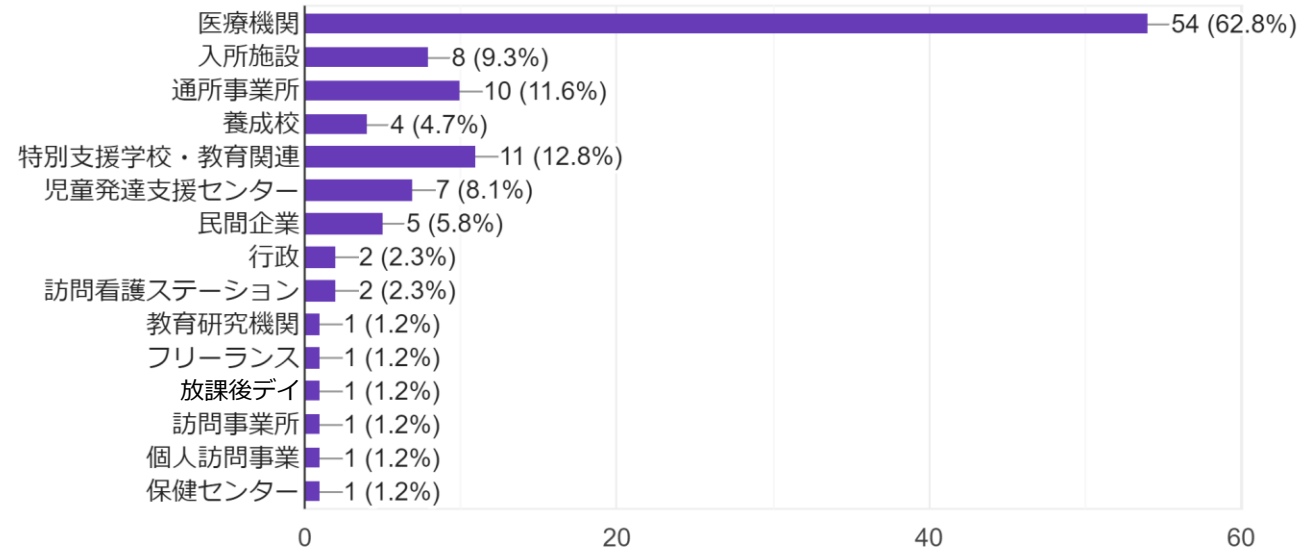
# 会員勤務地域と回答数



その他	東京都島嶼部	0
	全国（企業）	1
	千葉	2
	埼玉	6
	神奈川	1

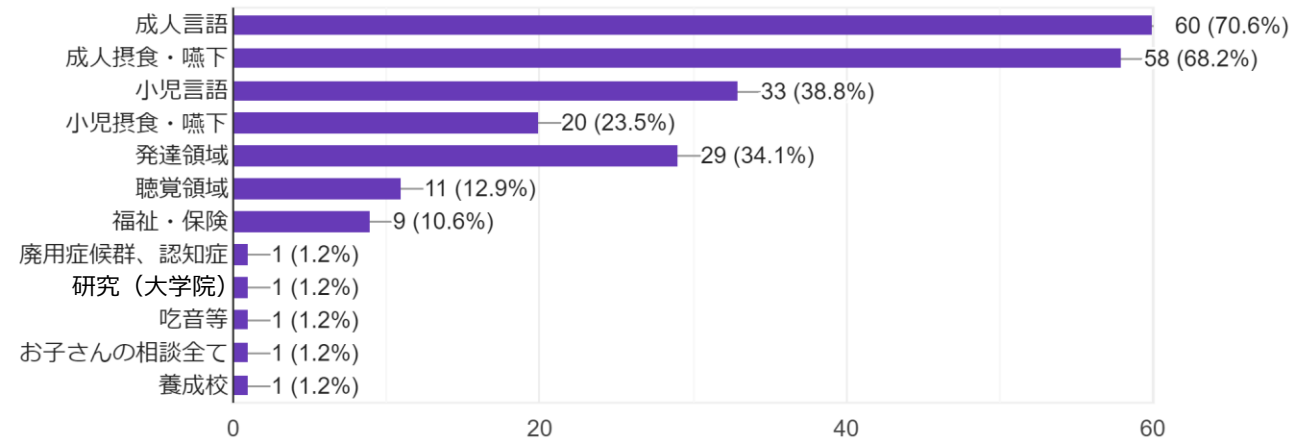
## 所属

86 件の回答



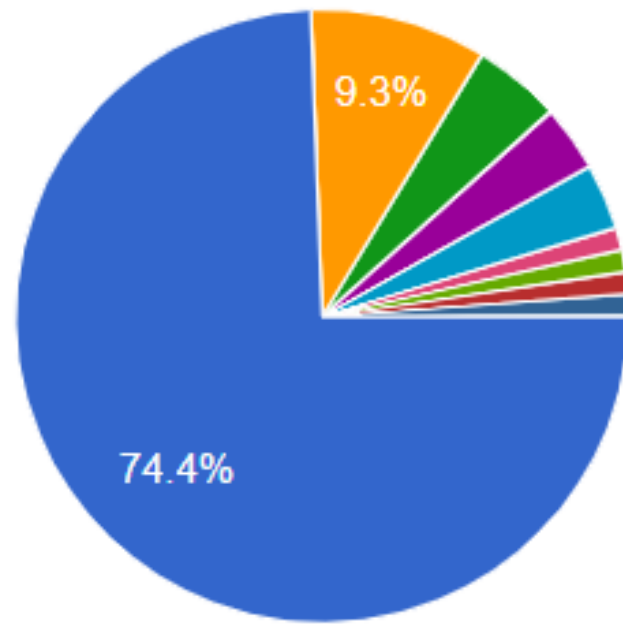
## 対象障害種別

85 件の回答



# 月收入について

86 件の回答

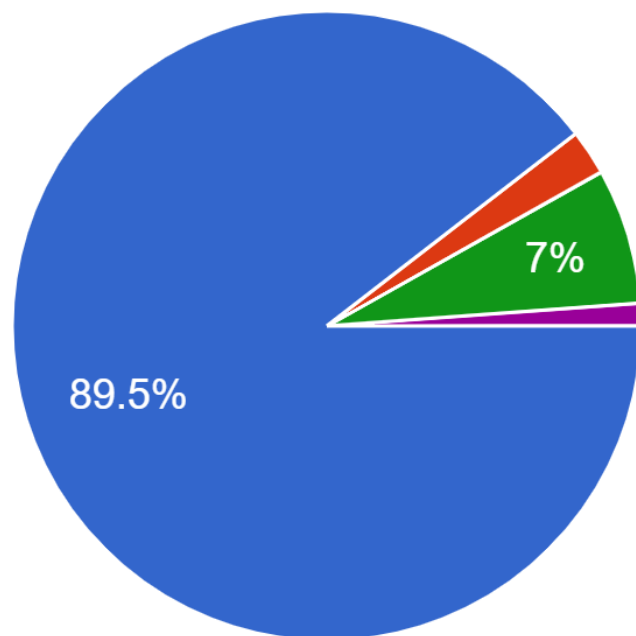


- 変わらない
- 一時減収になったが、現在は戻った
- 減額になった
- 半分程度の減額
- 収入はごくわずかになった
- 収入がなくなった
- 育休から復帰できていないため無収入
- 勤務先の月収は変わらずも外部の仕事が中止で減収
- 雇用回数が減るという意味で減額
- 非常勤の病院が他県にあるため現在出勤をしていません

- ・ 約75%で収入に変わりはない。
- ・ 約25%の方に減収あり、そのほとんどは、非常勤勤務先の回数減少によるもの。
- ・ フリーランスでは、収入なしもあり（3.5%）。
- ・ 育休より復帰できない(1.2%)。

## 健康状態について

86 件の回答

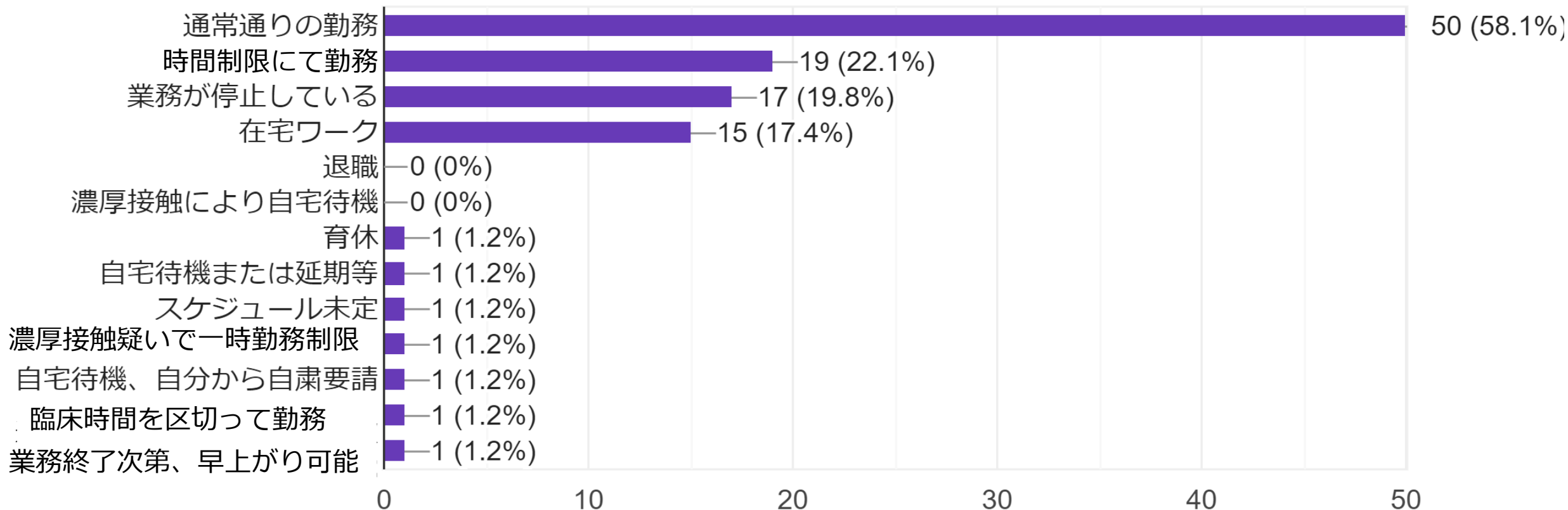


- 問題なし
- 体調に何らかの問題がある
- COVID-19感染・疑いあり
- 身体的には問題ないが、精神的な問題が生じている
- 身体、精神共に下降

- ・ COVID-19感染及び疑いの方はなし。
- ・ 約10%の方に、身体または精神的な影響あり。

## 勤務状況について

86 件の回答

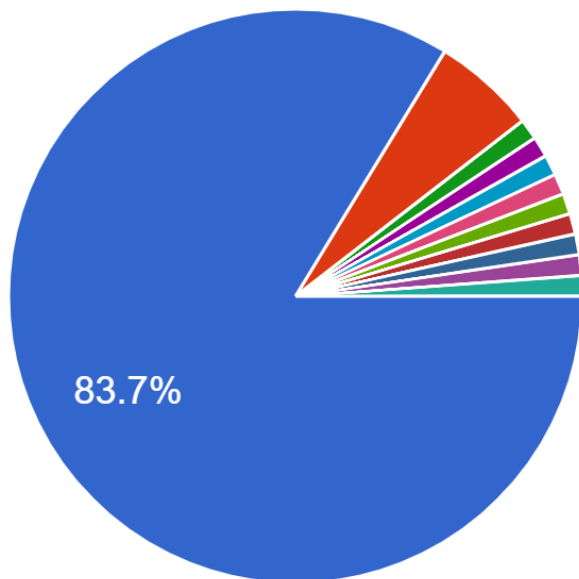


- ・ 通常通り 46.3%
- ・ 時間制限あり 19.4%
- ・ 業務停止 19.3%
- ・ 在宅ワーク 15.0%

※複数回答あり 計108件で修正

## 家庭状況について

86 件の回答

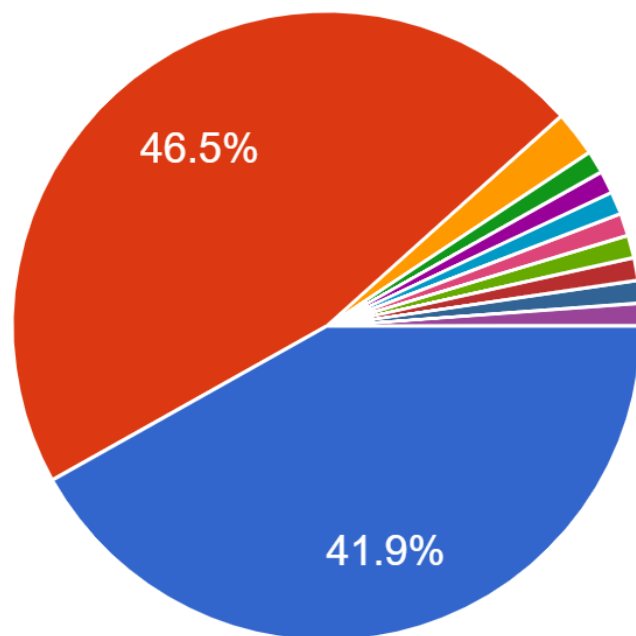


- 83.7% ● 通常と変わりなし
- 5.8% ● 養育や介護により職場に行くことができない
- 0% ● COVID-19感染・疑いにて入院中又は自宅待機中
- 1.2% ● 休校のため小学生の子どもが1人でずっと留守番している
- 1.2% ● 子どもが親不在のまま在宅している
- 1.2% ● 在宅勤務、オンラインゲーム授業の家族と同居
- 1.2% ● 子どもの学校が延長のため、家にいます
- 1.2% ● 業務減少、休園措置に伴い、療育の日が増えている
- 1.2% ● 在宅勤務、子どもは家庭学習中で家族全員が家にいる状況
- 1.2% ● 子どもが休校によりずっといる
- 1.2% ● 養育により職場にはいけないが、在宅勤務で対応している
- 1.2% ● リモートワーク、休校により、家族みんなが自宅にいる

・ 通常通り	83.7%
・ 業務につけない	5.8%
・ 休園・休校の影響あり	7.4%

# 職場での感染対策について

86 件の回答



- 41.9% ● 十分な対応がされていると思う
- 46.5% ● 感染対策は不十分であると思う
- 2.3% ● 感染対策がされていないと思う
- 1.2% ● 不明
- 1.2% ● 何をしていれば十分と言えるのかわか...
- 1.2% ● 感染対策はしていても、手指消毒剤等...
- 1.2% ● まだ感染対策用品が不足している
- 1.2% ● 私の職場の対策は、言語臨床を想定し...
- 1.2% ● 職場に行っていないのでわからない
- 1.2% ● マスク等の物品が限られており、十分とは言えない。
- 1.2% ● 正直、何が十分な対策なのかわからない。



# 感染対策で工夫をしていること ～物資不足への工夫～

- ・ ST各自がゴーグルを配給された
- ・ アルコールが足りない分、ピューラックスを使用してそのあと水拭きしている
- ・ クリアファイルでフェイスガードを代用
- ・ シールドは手作りしています。
- ・ ガウンは100円均一のレインコート
- ・ フェイスガードをラミネート紙やクリアファイルで作成して代用しています
- ・ マスクは手作り、フェイスガードは消毒のうえ再利用
- ・ リハビリではできる限り代用品、繰り返し使用できるもの、手作りのシールド等でPPEを代用している
- ・ マスクは洗浄して再利用できるように保存している
- ・ 口腔ケア用のガーゼをキッチンクロスで、代用している。
- ・ ゴミ袋での防護服等代用

# 感染対策で工夫をしていること

## ～臨床での工夫～

- ・お口関係のリハビリは全て禁止
- ・Facetimeなどでの遠隔でのST訓練のトライアル
- ・オンラインレッスンに切り換え。来所する場合は他家族が接触しないよう、予約時間の管理をする
- ・個室で指導をする。
- ・対面での指導・助言は横並びで行った。発音指導は指導を中止とした
- ・ドアを開け放し、扇風機をかけ、お互いマスクを着用
- ・一人終わるごとに机等消毒し換気してから次の人を行う
- ・診療の間隔をあける
- ・換気、手洗い、マスクの着用、消毒などとなるべく近距離の体面を避けるなどに配慮しています。
- ・口腔体操は鏡を使用するなど、マスクを外さないで実施している。
- ・対面時にアクリル板をおいて飛沫感染対策にしている
- ・通所者訓練時に、透明アクリル盤のついたてを使用
- ・発音指導中止。評価では、対面せず、横並びで行った。
- ・嚥下訓練時フェイスシールド代わりに透明サンバイザー装着、机上対面訓練時アクリル板衝立使用
- ・花粉やウイルス用のゴーグルは常に使用し、訪問毎に消毒
- ・車に乗ったら必ず消毒、次亜塩素酸水で消毒

# 感染対策で工夫をしていること ～職場内の工夫・その他～

## 職場内の工夫

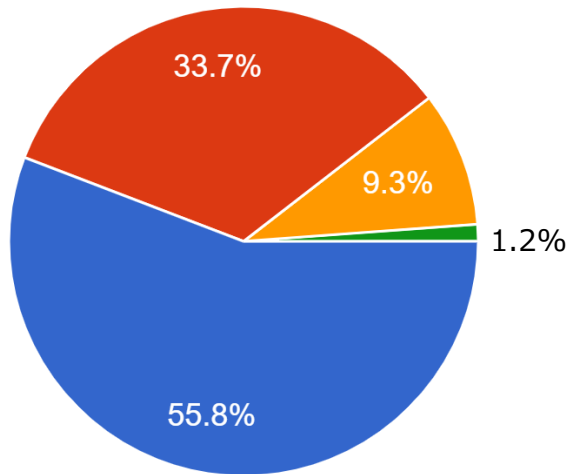
- ・スタッフルームで、スタッフ間をビニール袋で仕切りをしている
- ・記録などは席の間隔をあける配置に変更
- ・休憩室は講義形式の配置に変更
- ・窓は常にかけて換気する
- ・外来患者の出入口は職員は使用しない
- ・交代で拭き掃除しリハ室でのクラスター予防実施している
- ・事業所の窓は開け放している
- ・窓を解放しリハ室内の換気につとめている
- ・利用者の席の配置を交互にする、一日の利用制限等

## その他

- ・オンライン授業
- ・外来を縮小することで、病院全体の消費を抑制している
- ・三密を避ける業務内容に変更している（例えば、ミーティングを行わない等）
- ・職場の指示だけでなく自身でグッズを購入し使用したり、情報収集している
- ・早寝早起き、ご飯と味噌汁、ビタミンC、深呼吸、ヨガ、散歩

職場での感染情報について

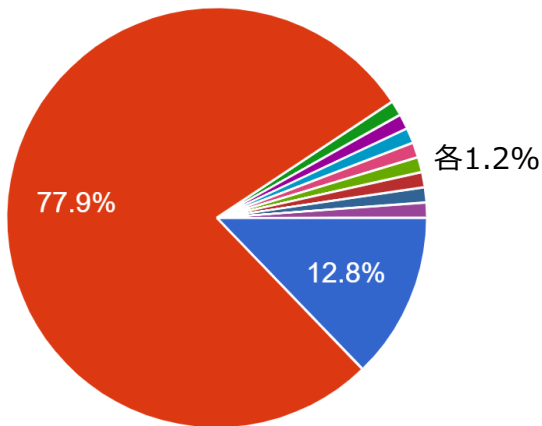
86 件の回答



- 随時情報が伝わっている
- 伝わってはくるが、十分ではない
- 情報が伝わってこない
- わからない

感染への不安について

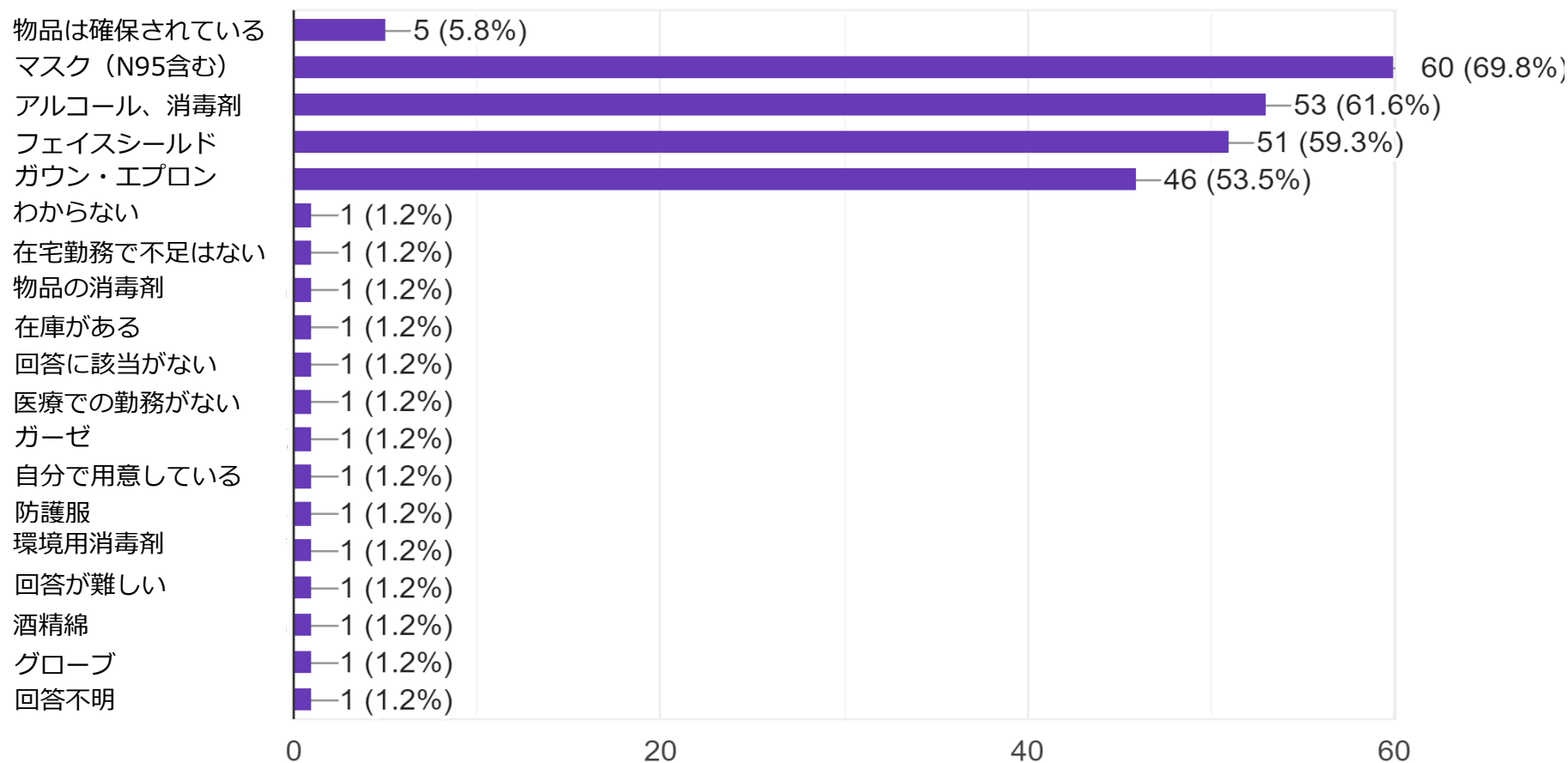
86 件の回答



- 不安はない
- 不安はあるが、勤務している
- 不安により、勤務ができない
- 5月中は自宅勤務だが、その後の勤務に不安がある
- 在宅が主ですから、日々の勤務による生活の感染が気になる
- 自粛中であり不安はないが、解除後に不安がある
- 臨時休業
- 通勤に時間がかかるため、通勤による...
- 不安の有無と勤務の有無に相関なし。
- 不安に思っても仕方ないから、あまり不安がらない。
- 臨床はしていないが不安はある

## 医療資源不足について

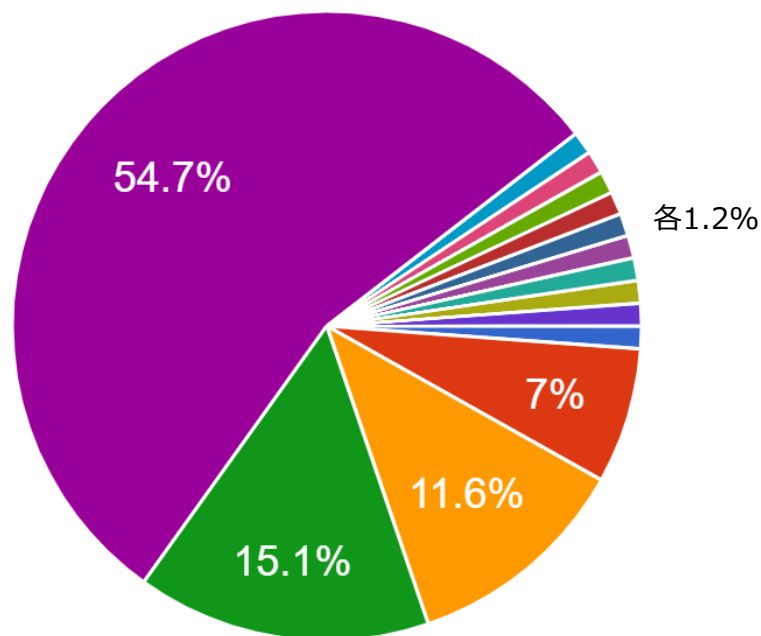
86 件の回答



一般的に伝達されている情報と同様に、マスク、アルコール、フェイスシールド、ガウン・エプロンはほとんどの事業所で不足。

# 実習生について

86 件の回答



実習を受け入れている	33件
➡予定通り受け入れ	1件 (3%)
受け入れ中止	13件 (39%)
検討中	11件 (33%)
学校から中止連絡	1件 (3%)
時期変更で実施	7件 (21%)

- 1.2% ● 予定通り受け入れる
- 7.0% ● 時期を変更して受け入れる
- 11.6% ● 受け入れについて検討中
- 15.1% ● 受け入れ中止
- 54.7% ● 実習生を受け入れていない
- お願いをする側です
- 養成校の判断
- 病院としては受け入れるが学校から中止の申し出多数
- 通常の受け入れ時期ではないフリーランスのため
- 養成校なので、実習施設の状況を確認しているところ
- 回答に該当しません
- もともと受け入れていない。
- 後期から再開予定

# 自由記載①

・1ヶ所は緊急事態宣言が出て、5月末まで業務休止。宿題のプリントを郵送。もう1ヶ所は、緊急事態宣言が出て、利用者さんに自粛を勧めるが、通常運営。通勤に時間がかかるセラピスト（私を含む3名）が3月後半から休ませてもらっている。4月半ばからは、私の担当の利用者さんは「自粛」で欠席となり、プリントを郵送している。グループ訓練で会話メインに行っていたため、今後の訓練をどうしていくか模索中。

・P P Eについては十分とは言えないが、まだ確保されている状況だが、今後長引くなるとどうなるか分からない。そうすると院内感染も出て来る可能性あると思う。

・STの内容制限が厳しくキャンセルが多いため、出勤日数を減らさざるを得ない。制限の緩和が見えない不安。その反面、子どもを預ける事にも不安。PT、OTはほぼ通常稼働しており（ほとんど制限なくキャンセルが少ない）、肩身が狭い。感染に対する意識も個人差が大きいと感じる。

・チーム医療推進協議会のアンケート内容と重複しています。S Tに特化した内容でその結果に基づいて対応策を検討頂けると嬉しいです。

・フリーランスでの収入が不安定となった。所属先の上司で、同じ区でも対応が異なる。医療崩壊への危機感が低い職場がある。子どもの指導における大まかな指導の配慮点、工夫などの指針があると、職場の上司に提案しやすい。

# 自由記載②

- ・フリーランスのため、給料保障はなく、医療資源もない。唯一、会計年度職員契約の所は事故休暇扱いで給料保障がある。
- ・一人職場で、訓練においての感染対策を完全に個人に任されており、感染患者を受けている病院でもあるため常に不安がある。感染対策ばかりを考えると十分な訓練ができない事もある。
- ・学校関係の勤務は非常勤であり、休校に伴い窮乏状態ですが、2学期以降再開予定との連絡が入ったものの、8月までの生活に大きく影響し、他の仕事を探す必要があります。非常勤であることから休業補償等もなく、続けられないと考えています。小児対象のST野身分の不安定さが、子育て中や家族を持った人にとっては厳しいため、非常勤のSTを行う人が減ると懸念しています。
- ・基本的に日本嚔下医学会の指針に基づいて対応しています。
- ・現場の職員への感染予防策がない。本部は感染予防より売り上げしか見ていない様子。
- ・指導時の配慮や基準などがほしい。医療従事者などに少しでもお役に立てることはないか。



# 自由記載③

- ・通勤距離が長く、満員電車を利用することへの不安が大きい。 コロナ疑いの場合は「出勤禁止」であり、陽性となった場合労災とは扱われない可能性のほうが大きい。
- ・通所、訪問、外来は自粛の影響で患者、利用者数が減っている。新規の嚥下リハビリはとらないなどの対策もしている。
- ・通常の勤務のほかに、毎年、保健所、小学校関係等の仕事の依頼を受けますが、今年は、7月までの仕事は、中止あるいは延期となっています。
- ・特に嚥下訓練での感染リスクが高いため、ゴーグルやマスク等の着用はもちろん、訓練時のSTの位置などにも配慮しております。ipadを用いた訓練等ができるよう、現在検討中です。
- ・入院、外来、訪問リハをやっていますが、分離して対応している。入院患者減少し、訪問リハの新規依頼が数件増えた。PPEが不足し消毒薬も不足しているので、患者さんに対応するのはいいが、感染しないか、感染させないかが毎日不安。

# 自由記載④

・熱があるが呼吸器症状がない職員がいるが、病院のICT担当医師・看護師の判断があいまいで、現場のスタッフ・リハDrの判断にゆだねられている。入院患者が感染しているのか否か、PCR検査をしていないので不安。耳鼻科医師がVEをやらないと宣言しており、禁食中の嚥下障害患者の経口摂取導入の判断がSTにゆだねられている

・肺炎患者でも誤嚥の疑いが強いと検査には回されません。かといって転院も実質拒否されるようです。亡くなった方もあります。STはそうした患者に関わる一方で、常時人工呼吸器使用の神経難病患者にも介入を続けています。自分たちが媒介してしまったら長期療養者の命を奪ってしまいそうです。維持的な関わりしかできない医療療養病床の患者さんに今介入するメリットがリスクを上回っているかどうか自信がありません。毎日後ろめたさを感じながら働いています。

# ご協力ありがとうございました。

- 日本言語聴覚士協会  
「新型コロナウイルス感染症にかかる臨床業務における基本的対応事項」  
<https://st-toshikai.org/9013-2/>
- 都士会HPにて情報提供行っております。  
ホーム＞ お知らせ＞ 新型コロナウイルスに関する情報
- 次回は6月1日より第二回のアンケートを予定しております。  
各団体からのアンケートの実施がありますが、調査だけではなく、  
頂いた情報から現状に寄り添った情報の提供と対応を検討していきたいと思います。  
引き続きのご協力よろしくお願いいたします。